

長良川では  
流域八十六万人のくらしの中で  
清流が保たれ、鮎が育ち、  
地域の歴史、文化、経済と  
深くつながっています。



**森が蓄える長良川の清流**  
都市部を流れる川でありながら  
日本三大清流と呼ばれる



**日本有数の鮎**  
伝統漁法による食料の確保



**鮎と水の文化**  
流域に伝わる文化と価値観



**森・川・海のつながりで育つ鮎**  
生物多様性と鮎資源の確保



**森を育てる活動**  
森林の育成と水資源管理



**川を守る活動**  
優れた景観と生態系の保全

## 長良川システム

人の生活、水環境、漁業資源が  
連環する里川のシステム

# 世界農業遺産認定による効果

## 農林水産業



GIAHS鮎の日

「里川」における持続的な農林水産業の振興

- ・「岐阜県魚苗センター」の拡充
- ・人工ふ化放流事業、繁殖環境整備
- ・7月第4日曜日を「GIAHS鮎の日」に制定
- ・「清流長良川の恵みの逸品」の制定
- ・海外トップセールスでのプロモーション
- ・国際基準の水産エコラベルマリン・エコラベル・ジャパンの取得

- 産卵場造成面積：800m<sup>2</sup>(H25)→**1,600m<sup>2</sup>**(R3)
- 「清流長良川の恵みの逸品」認定商品数：**55商品**(R4. 7)
- 県産鮎輸出量：15kg(H25)→**1,750kg** (R3)

## 伝統漁法、伝統文化



清流長良川あゆパーク



伝統漁法を親子で学ぶ講座

鮎を対象とした伝統漁法と、  
鮎と水にまつわる伝統文化の継承

- ・伝統漁法、文化を守る後継者の育成
  - ・「清流長良川あゆパーク」の運営
  - ・鶴舟の造船・舟大工育成事業の実施
  - ・学校への講師、ガイド派遣
- 体験学習を通じた水産業の振興と世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信拠点、清流長良川あゆパークオープン:H30.6.2
  - 清流長良川あゆパーク来場者：**62万人** (R4.7月末)

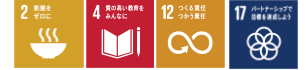
## 環境の維持、保全



## 多様な主体の参画



## 情報発信



「里川」における水環境、生物多様性の維持、保全

地域住民や若い世代による取り組みの推進

国内外に向けた長良川システムの発信

- ・水源の森づくり、魚のための森づくり
- ・良質な水質の保全
- ・生物多様性の維持、保全

- ・長良川システムサポーターの育成
- ・プレーヤーズによる活動
- ・高校生による調査研究への支援

- ・世界農業遺産体感モデルツアー
- ・国内認定地域との連携PR
- ・「東南アジア漁業開発センター」との協力
- ・「内水面漁業研修センター」開設における研修生受け入れ、研究員派遣による技術指導
- ・国際貢献活動の国内外でのPR

- 漁協の「長良川源流の森育成事業」：**127名参加** (R3)
- 魚つき保安林面積：4.5ha (H25)→**13.3ha** (R3)
- 岐阜県自然工法管理士新規認定者数：  
:134人 (H25)→ **128人**(R3)

- 長良川システムサポーター認定者数：**76名** (R3)
- プレーヤーズ登録団体数：**89団体** (R4.7)
- 高等学校への調査研究の支援：**4校** (R3)

- 体感モデルツアー：**54コース 延べ1,270名参加** (H28～R3)
- アジア、アフリカ地域等からの研修生や政府関係者の視察研修受け入れ：**34カ国156名** (のべ人数) (H28～R3)



魚つき保安林



長良川源流の森育成事業



高校生による調査研究成果発表



システムサポーター研修



体感モデルツアー



内水面漁業研修センターでの研修